

総会議案集について

1、第1号議案(事業報告及び決算報告)について (P2~P22)

事業報告について (P2~P17)

- 令和3年度の事業についても、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の影響を大きく受けることになりました。
- そのような状況下においても、各種事業を可能な限り実施するため一昨年からオンラインツールであるzoom(会議用のzoomプロおよび研修会用のzoomウェビナー)を導入しました。
その結果、予定されていた研修会などはオンラインという形ではありましたが、すべて実施することができました。
- 一昨年ネットバンキングおよびクレジットカード決済を導入したことで現金取扱量が減少し、会計不一致などの発生予防につながっています。
- これまでは土会活動に伴う交通費などの費用弁償は直接会う事ができたときに現金で支払っていました。しかしCOVID19の感染拡大のため直接会う事が困難となりましたが、ネットバンキングなどを利用することで支払いが滞ることがなくなりました。
- 令和3年度は大きな事業が続きました
 - ①山梨県リハビリテーション専門職団体 合同学術大会
 - ②2020東京オリンピック、パラリンピック
 - ③山梨県理学療法士会 創立50周年記念県士会全体で取り組み、大きな成功を納めることができました。

決算報告について (P18~P24)

- 1) P18~P21は法人として報告必要な書式です。
- 2) 令和3年度予算と決算額の比較 (P22~P24)
 - ①収入について、会費収入：190,000円マイナス、事業収入：26,000円マイナス、補助金収入：予算通り、営業外利益：248,426円プラス
以上から、予算額と比較して合計：32,426円のプラスとなりました。
営業外利益につきましては、会員の土会活動中の事故を補償する保険および一般の参加者を保証するボランティア保険の返金があり、数字を引き上げる結果となりました。
 - 会費収入では、任意退会者および未納退会者がいたこと、新規体会申請者がいたこと、予算案よりも新入会者が6名少なかったことなどがあげられます。
 - 事業収入においては学術研修会、生涯学習局研修会などの例年参加費徴収を行う研修会をオンライン開催に伴い無料化したことが影響しています。
- ②支出について、管理費では、3,105,069円のマイナス、事業費では、3,645,231円のマイナス、委員会・その他では467,362円のマイナス、合計で7,217,662円のマイナスとなりました。
- 各局、部、委員会において、計画的運用を行う事で支出を削減し慎重な予算執行を行った

- 各研修会や各事業の実施がオンライン開催となったことで、会場費、講師交通費や宿泊費などの執行がなかった
- メール配信システムの運用開始に伴い、例年 600,000 円近い郵送料がなくなった
- 結果、令和 2 年度の繰越金 7,918,926 円に対して、令和 3 年度の繰越金は 8,693,354 円（774,428 円増）となりました。
- P25 は山梨県理学療法士会創立 50 周年記念事業の決算報告書です。
本事業につきましては、特別事業等積立基金から支出をしているため、P22～P24 の決算報告とは別となっています。

3、第 2 号議案（監査報告）については資料（P26）を参照してください。

4、第 3 号議案（令和 4 年度～令和 5 年度の役員）について（p27）

- 役員候補選挙については立候補者すべてが規定により無投票当選となります。
 - 理事及び監事の選任については総会の決議が必要となります。
- *立候補者名簿にてご確認ください。

5、第 3 号議案（事業案、予算案）について P28～P41）

事業（案）について（P28～38）

- 令和 4 年度からの役員は総会の決議によって選任されますので、議案集の時点では名前が入っておりません。各役職が決定しましたらメール配信や HP 等にて速やかにお知らせいたします。
- 令和 4 年度事業については、例年通りの事業案としております。
- 新型コロナウイルスの影響も残っていますが、研修会などは対面での開催を前提に準備を進めています。
- 一方で感染状況によってはオンライン開催や人数を制限しての対面研修会（オンラインとのハイブリッド）開催を視野に計画をしています。
- 昨年新しく設置した「土会支部設立推進局」は今年度土会支部の設立に伴い「土会支部局」として活動をいたします。
土会支部は「中西部支部」と「富士東部」支部の 2 つの支部とし、より細やかな活動が実施できるように準備を進めます。
- 昨年度特別委員会として活動した「学術誌編集部設立準備委員会」は学術大会局の「学術誌編集部」として活動をはじめます。まずは今年度開催される第 25 回山梨県理学療法士会学術集会の学会誌と合冊として刊行予定です。
- 昨年記念すべき創立 50 周年を迎え、今後の 10 年、20 年、50 年に向けた足掛かりを作るべく現在の土会体制を検討し、より充実した組織の構築を図るため「土会組織検討委員会」を新たに設置しました。

予算（案）について（P39～P41）

令和 3 年度決算額との比較

①収入について、会費収入：300,000 円のプラス、 事業収入：5,669,431 円のプラ

ス、助成金や昨年度の発送費立替分返金等により 合計：2,051,286 円のプラス収入（繰越金含む）となります。

②支出について、管理費では、4,018,069 円のプラス、事業費では、5,669,431 円のプラス、委員会その他では 556,162 円のプラス、その他拠出金等を含めると合計で 10,744,640 円のプラスになりました（予備費含む）。

・令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予算執行が少額であったことと、令和 4 年度は対面研修および専門業者と契約を行ったうえでのハイブリッドでの開催も視野に予算編成していることが、支出増加の理由となっています。

＊特別委員会であった「学術誌編集部設立準備委員会」が学術大会局の「学術誌編集委員会」となっておりますので、決算書と一部数字が変更になっております。

＊オリンピック・パラリンピックスポーツ委員会の活動は終了となりましたが、活動報告集を作成中です。

5、第 4 号議案（その他）について（P42～P59）

・現在の士会の組織図です。ご確認ください。

氏名等は総会后決定しましたら速やかに記入のうえ、会員の皆様に報告いたします。

・部員、委員会、その他の活動に関わってくれている先生方について「部員、委員会等名簿」として記載しています。

非常に多くの先生方のご協力のうえに士会活動が成り立っています。

今後ともご協力をお願いいたします。

・山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の報告資料です。
ご確認ください。

以 上